

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	阿蘇市一の宮町宮地504番地1				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	阿蘇市 阿蘇市長 佐藤 義興				
事業概要	公務 地方公務				
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量		kl	
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台	
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間	2020年度～2024年度				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	平成30年度(2018年度)に策定した第3次阿蘇市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を推進し、令和6年度(2024年度)年度の温室効果ガス排出量を平成25年度(2013年度)比で10%削減する。				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	環境マネジメントシステム名称	適用範囲	取得年月日		
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	LED照明施設をはじめとした省エネルギー型機器、小型車や低燃費の公用車の導入 冷暖房設定温度(夏季28℃、冬季20℃)の徹底 始業前、昼休みの消灯や時間外の不要箇所での消灯 ノー残業デーの実施 新エネルギーの有効活用、導入を促進				
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2013)年度	前年度の実績 (2019)年度	目標年度(B) (2024)年度	増減率 ((B-A)/A)
		4,957 t-CO ₂	2,262 t-CO ₂	4,461 t-CO ₂	10.0%
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
		原単位 0.122 当たり t-CO ₂	原単位 0.061 当たり t-CO ₂	原単位 0.110 当たり t-CO ₂	10.0%
	原単位の考え方	延床面積(m ²)			
特記事項	前計画期間では熊本地震等の影響により休止していた施設があり、重油等の使用量が低下することで実績が下降線をたどっていたが、今計画期間ではそれらの施設の多くが稼働再開するため、前年度実績より増加することが見込まれる。				

備考 1 のある欄には、該当する欄内に「レ印」を記入してください。
 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
 「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
 「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。